



2025 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 ストライダーズ  
代表者名 代表取締役社長 早川 良太郎  
(コード 9 8 1 6 スタンダード市場)  
問合せ先 財務・経理部長 前原 宏信  
電 話 0 3 - 6 9 1 0 - 8 3 9 0

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表いたしました、2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 2026 年 3 月期 通期連結業績予想の修正（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 8,000	百万円 100	百万円 90	百万円 63	円 銭 12.00
今回発表予想（B）	8,200	170	190	100	11.45
増減額（B－A）	200	70	100	37	－
増減率（％）	2.5	70.0	111.1	58.7	－
（ご参考）前期実績 （2025 年 3 月期）	7,788	47	85	43	5.32

#### 2. 修正の理由

2026 年 3 月期第 2 四半期は、営業利益が前年同期比 130 百万円以上の増益となりました。市場環境の改善に加え、当社グループが進めてきたコスト構造の見直しや業務プロセスの効率化、収益基盤の強化等の施策が奏功し、各事業の売上・利益が好調に推移いたしました。

ホテル事業では、訪日外国人観光客の増加や国内旅行需要の堅調な推移を背景に、稼働率と平均客室単価が上昇し、DX を活用したレベニューマネジメント精度の向上やシフト運用の効率化により黒字化を達成しました。不動産事業では、サブリース・家賃保証などのストック収益の安定化に加え、不動産周辺領域の拡大が寄与し、収益性が向上しました。

これらの結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益すべてにおいて当初予想を上回る見通しとなったため、通期業績予想を上方修正いたします。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、実際の業績はさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上